

Weekly金融市場

調査第二部

多田 忠義

来週のポイント

● 米 FOMC 開催、量的緩和策第 3 弾の今後について注目高まる

18～19日に連邦公開市場委員会(FOMC)が開催される。最近の金融資本市場はボラティルな動きを続けているが、その要因の一つは、現在米連邦準備制度理事会(FRB)が実施する量的緩和策第3弾(QE3)を縮小するとの観測が広まっていることである。失業率は依然7%台半ばで高止まるものの、小売、住宅関係の指標はおおむね堅調に推移しており、米国経済が回復軌道に入ったのとの見方が強まりつつあることが背景として挙げられる。

バーナンキFRB議長はFOMC終了後の19日の記者会見で、5月22日の議会証言で示唆した緩和策縮小の可能性について、さらに具体的な内容に踏み込んで言及するかに注目が高まっている。

● 財政・金融政策に関する要人発言が相次ぐ

17～18日に英・北アイルランドで主要8ヶ国首脳会議(G8サミット)が開催され、それに合わせて安倍首相は欧州歴訪を予定している。議長のキャメロン英首相はG8サミットの議題として、貿易、税制、途上国援助などの透明性を挙げているが、日本は成長戦略や骨太の方針、財政健全化策について各国の理解を求めるとみられる。

また、21日は黒田日銀総裁が挨拶する予定となっており、足元の金融資本市場に対する認識や日銀の政策姿勢に関する発言に注目があつまるだろう。

● 主な経済指標

日本では、19日に「貿易統計(5月)」が発表される。年初来続いた円安や米経済の持ち直し等で輸出が回復しつつあるものの、依然、原油や液化天然ガス等の輸入が高止まりしていることから、今回も貿易赤字は続く見通しである。

米国では、18日に「住宅着工・許可件数(5月)」が発表される。コンセンサス中央値(14日現在、Bloombergまとめ)では、前月比11.4%(年率換算95.0万件)と、4月の同16.5%(同85.3万件)から着工数増加、先行する許可件数は、前月比2.7%(年率換算97.8万件)と、前月の同14.3%(同101.7万件)と許可数は減少する見通し。月ごとの変動はあるもの、住宅着工の動向は堅調とみられる。

来週のスケジュール(6/17～6/21)

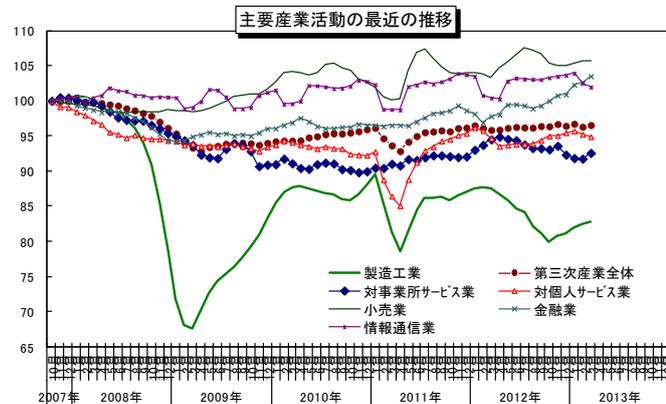
月日	国内の予定	海外の予定
6月17日(月)	安倍首相、欧州歴訪・G8出席(15～20日) 「第三次産業活動指数(4月)」(2pに予測掲載)	英 主要8ヶ国首脳会議(G8サミット)開催(英・北アイルランド、～18日;期間中、日米首脳会談等を予定) 欧 「ユーロ圏貿易収支(4月)」
6月18日(火)	20年利付国債入札(1.2兆円程度) 国庫短期証券(1Y)入札(2.5兆円程度) 「鉱工業生産・稼働率(4月確報、2010年基準)」	米 連邦公開市場委員会(FOMC、～19日) 欧 ドラギ ECB 総裁講演(エルサレム) 米 「消費者物価指数(5月)」 米 「住宅着工・許可件数(5月)」 欧・独 「ZEW 景況感調査(6月)」
6月19日(水)	「貿易統計(5月)」(2pに予測掲載) 「資金循環統計(1～3月速報)」	米 バーナンキFRB議長記者会見 米 FRB 経済予測発表 英 安倍首相講演(経済政策について、ロンドン) 米 「MBA住宅ローン申請指数(6月14日週)」
6月20日(木)	国庫短期証券(3M)入札(5.7兆円程度)	欧 ユーロ圏財務相会合 米 「中古住宅販売件数(5月)」 米 「景気先行総合指数(5月)」 欧 「ユーロ圏消費者信頼感指数(6月)」 米 「新規失業保険申請件数(6月14日週)」 米 「失業保険継続受給者数(6月8日週)」 中 「HSBC製造業PMI(6月速報)」
6月21日(金)	黒田日銀総裁挨拶(全国信用金庫大会)	欧 EU財務相会合

1. 来週発表予定の経済指標予測

4月の第3次産業活動指数【6月17日（月）8:50】

＜当社予測＞第3次産業活動指数:前月比 0.4%(3月:▲0.9%)

10 大電力会社の使用電力量(4月)が前月比▲4.0%(当総研による季節調整)と2ヶ月ぶりのマイナスになるなど懸念材料はあるが、商業販売統計の商業販売額指数(4月速報)は同 0.9%(内訳は卸売業:同▲0.6%、小売業:同0.7%)と2ヶ月ぶりに上昇、さらに特定サービス産業動態統計調査の情報サービス業売上高(4月)も同 1.2%(当総研による季節調整)と3ヶ月ぶりに上昇した。また、株式相場の上昇等を背景に、金融業も好調を維持するとみられる。こうしたことから、第3次産業活動指数は2ヶ月ぶりに前月比で上昇に転じると予想する。(寺林)

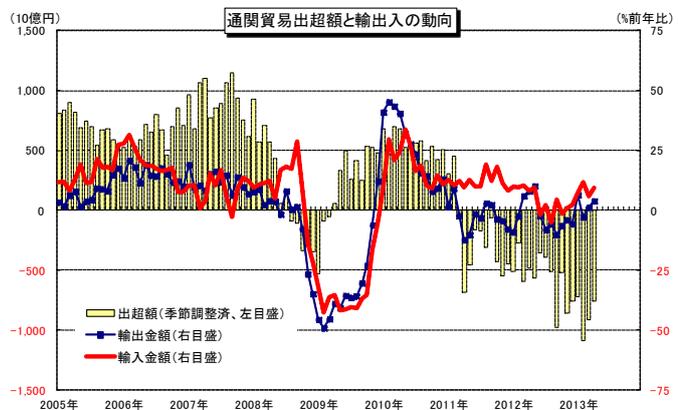


(資料)経済産業省 (注)2007年10月=100、3ヶ月移動平均

5月の貿易統計【6月19日（水）8:50】

＜当社予測＞通関貿易収支:原系列▲1兆2,000億円 (4月:▲8,819億円)
 季調済▲8,900億円 (4月:▲7,644億円)

世界経済の持ち直し傾向がなかなか強まらないこともあり、輸出の回復ペースは依然として鈍いものの、船舶や科学光学機器などの増加が見込まれることから、輸出額は前年比 8.9%と3ヶ月連続でプラスになると予想する。一方の輸入額は、原油や液化天然ガス等の輸入が依然として高水準で推移していることから、同 12.3%と7ヶ月連続のプラスを見込む。この結果、通関貿易収支は▲1兆2,000億円と11ヶ月連続の赤字、季節調整値も▲8,900億円と27ヶ月連続の赤字を予想する。(寺林)



(資料)財務省統計

2. 債券市場

寺林 暁良

相場概況 (6/10~6/14 前場)

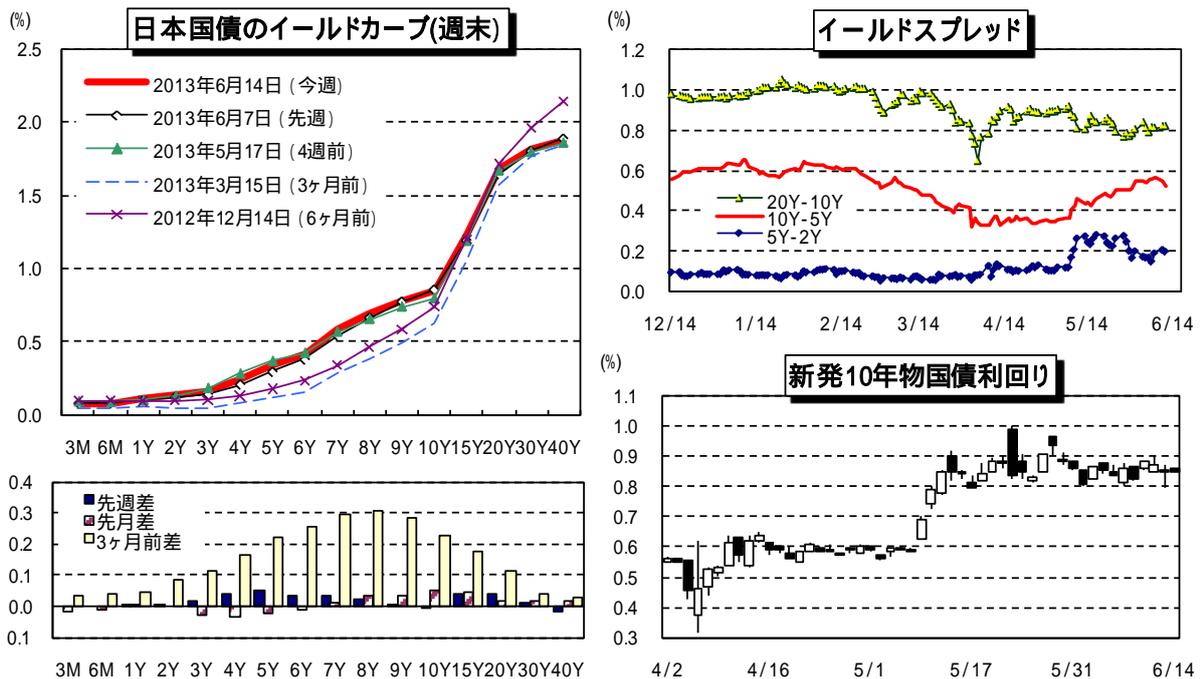
今週の長期金利(新発 10 年国債利回り)は、先週に引き続き、0.8%台を中心として上下を繰り返すボラティルな展開となった。

週初の長期金利は、10~11 日の日銀金融政策決定会合での政策期待から低下傾向で推移したものの、同会合で金融政策の現状維持が決まったことから、固定金利オペの期間延長などを期待していた市場からは失望感が広がり、反転上昇。12 日の流動性供給入札の結果が低調だったこともあり、週中には一時 0.9% ちょうどをつけるなど、先月末以来の高水準となった。しかし、週末には乱高下する展開に。円高・株高の進行に対する質への逃避から一時 0.8% を割り込んだものの、債券への高値警戒感から再び上昇するなど、方向感のない展開が続いている。

イールドカーブは、短期から長期にかけて上昇した。14 日 11:00 時点の新発 10 年国債(#329)利回りは、0.850% (先週末比 1.0bp)。10 日に中心限月が 9 月物に移行した 10 年国債先物は、同 11:02 時点で 142 円 54 銭(同 26 銭)。

来週の相場予想 (6/17~6/21)

引き続き、株式・為替相場の影響や各国の金融緩和に関する思惑に左右される展開を予想する。18~19 日の FOMC 後のバーナンキ会見等を通して、徐々にボラティリティも低下してこよう。また、18 日の 20 年国債入札にも注目したい。



(資料) Bloombergより農中総研作成

国債入札結果

入札日	銘柄 (回号)	表面利率	発行予定額	応札倍率	テール	最低価格	最高利回
6/12	流動性供給 (#143) (20年:#107-140, 30年:#3-37)		0.3兆円	2.10倍 (2.25倍)			
6/14	5年利付国債 (#112)	0.4% (0.4%)	2.7兆円	4.36倍 (3.39倍)	2銭 (2銭)	100.17円	0.365%

(資料) 財務省ホームページより農中総研作成。表面利率及び応札倍率、テールの()内数値は前回入札の値

(注) 流動性供給入札(#143)の発行対象銘柄からは、20年債の#110、#113、#114、#121、#138及び#139、30年債の#9-11を除く

3. 株式市場

多田 忠義

相場概況 (6/10~6/14 前場)

日経平均株価は、米雇用統計の結果を受け QE3 縮小懸念が後退したため大幅反発したものの、新興国市場の全面安や円相場の急伸を背景に暴落し、一時 12,400 円台と日銀が異次元緩和に踏み切る直前の水準まで値下がりした。

週明け 10 日は大幅反発、7 日の米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場の予想を上回る増加となった一方で、失業率は上昇したことから量的緩和策第 3 弾(QE3) 縮小観測が後退し、全面高の展開となった。11 日は反落、日銀金融政策決定会合の結果発表前は方向感のない取引となったが、発表された会合結果に追加策等が盛り込まれなかったことを嫌気し、後場で売りが広がった。12 日は小幅続落、ドル円相場が小幅な値動きで推移したことや、値ごろ感からの買いが入ったことで下げ幅を縮小した。13 日は大幅続落、14 日が特別清算指数(SQ) 算出日であることから買いが低調に推移したことに加え、新興国株式市場で全面安となったことや、円相場が一時 1 ドル = 93 円台に急伸したことなどから全面安の展開となり、日銀の異次元緩和に踏み切る直前の 4 月 3 日以来の安値圏となった。14 日午前は小幅反発、前日の米ダウ工業株 30 種平均が上昇したことや円が下げ渋っていることなどが背景。18~19 日の米 FOMC を見極めようと、様子見の姿勢も見られる。

業種別では、33 業種中 26 業種が前週末比で上昇。

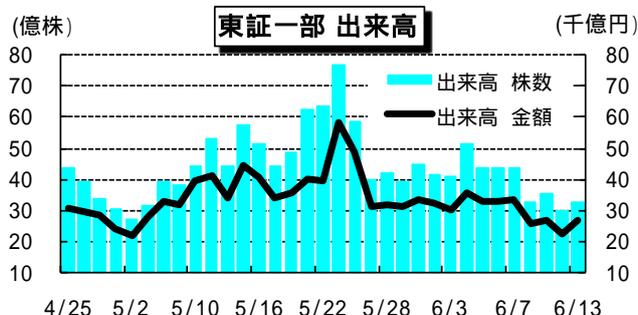
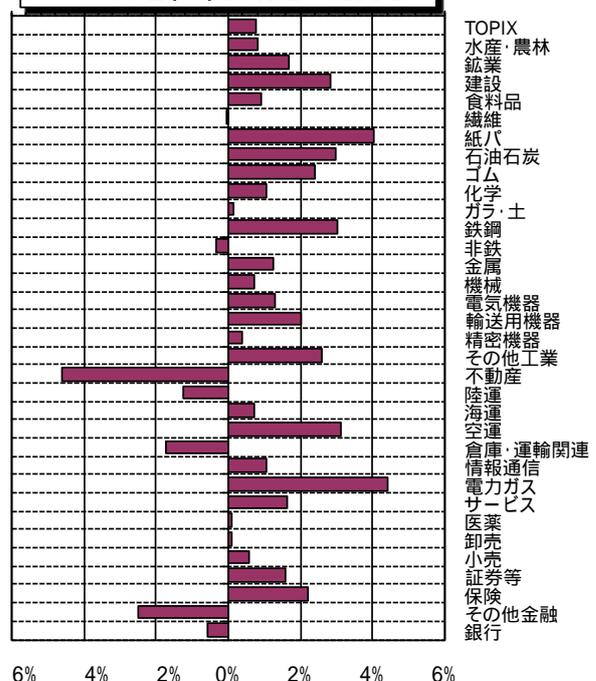
< 前場終値 > 日経平均: 12,788.42 (前週末比 986.12)、TOPIX: 1,065.28 (同 70.50)

来週の相場予想 (6/17~6/21)

18~19 日に米 FOMC が控えており、週初めから週央にかけては QE3 の出口戦略に関する思惑からボラティルな展開が引き続き見られると予想する。週後半は、円相場の流れを受け一進一退の展開を予想。5 月の日経急落のきっかけの一つとされている HSBC 中国製造業 PMI は 20 日に発表の予定。このほか、21 日の黒田日銀総裁発言にも注目したい。



TOPIX 業種 (33) 別 前週末比変化率



決算発表 注目銘柄 (変更になることがありますのでご注意ください)

(資料) Bloomberg より農中総研作成

(6/18) ツルハホールディングス

(6/21) アークランドサカト

など

4. 外国為替市場

竹光 大士

相場概況 (6/10~6/14 前場)

ドル・円相場は、「質への逃避」や日銀政策決定会合が主な変動要因となった

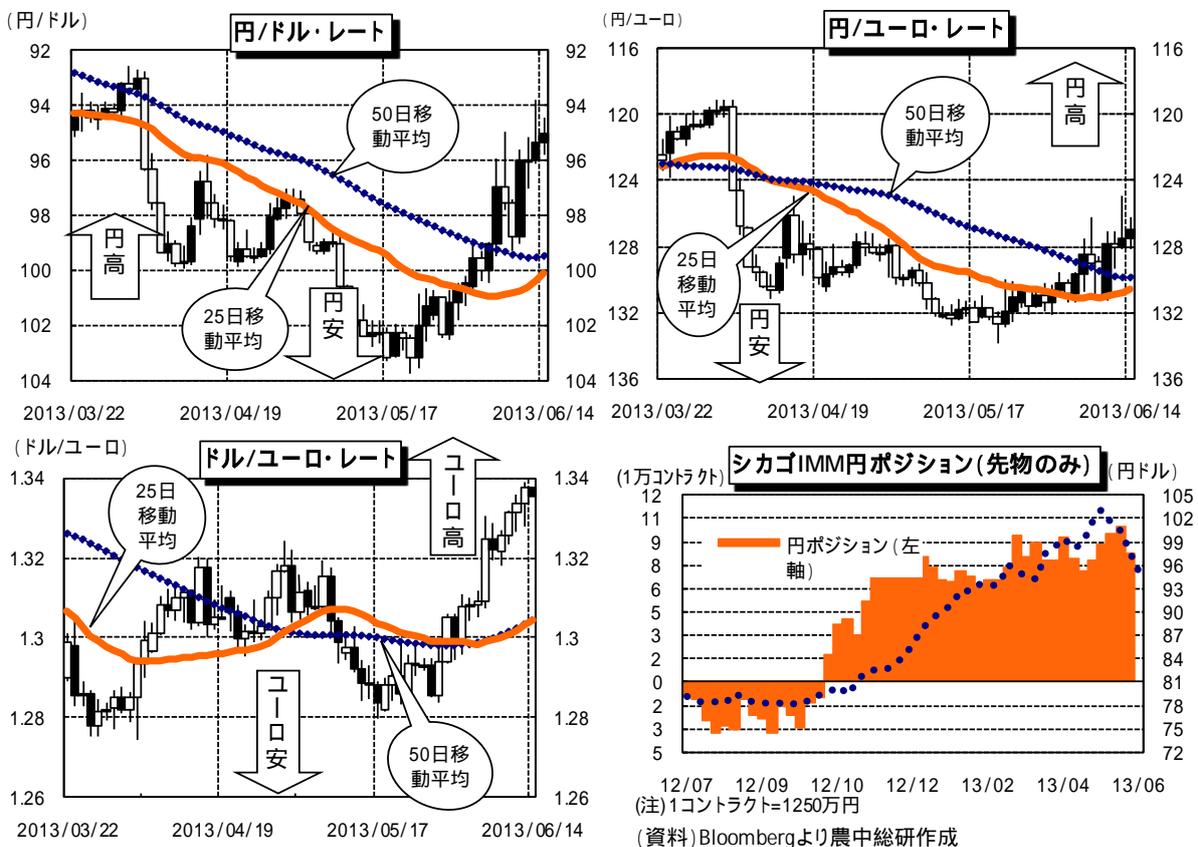
先週と同様株安が「質への逃避」を連想させ、円高圧力として働く状況が続いている。週初は QE3 早期緩和縮小観測後退から日経平均が大幅反発、円安の流れとなり、前週末比約 1 円 50 銭円安の 1 ドル = 98 円台前半で推移。その後は、日銀の政策決定会合で現状維持が示されたことから円高になり 1 ドル 97 円後半での取引となった。11 日の海外市場では日銀の政策決定会合を受けて一時 95 円 60 銭まで円高・ドル安が進んだものの、週央にかけては、日本株が持ち直したのを受け、96 円後半で推移。週後半にかけては、米株安、日経平均の大幅下落が「質への逃避」を連想させ、一時 93 円台まで約 2 ヶ月ぶりの円高水準となった。14 日前場にかけては日本株の反発から、円安になり 94 円台半ばで推移。

ユーロ・円相場は「質への逃避」が意識され上下する展開

ユーロ円は週初、ドル円につられ、前週末比約 1 円 50 銭円安の 1 ユーロ = 129 円台半ばでの推移となった。その後は、仏の経済指標が予想を上回ったことからユーロが買われ 130 円台前半での推移となった。週央にかけては、前日の海外市場ではドルにつられ円高になったものの、ドル円につられ円安方向に戻し 129 円付近で推移。週後半にかけてはドル円につられ、一時 124 円 97 銭まで円高が進んだ。14 日前場にかけては「質への逃避」の後退から 126 円半ばまで円安になり推移。

来週の相場予想 (6/17~6/21)

来週のドル円相場は、20 日の FOMC 理事会とバーナンキ議長のスピーチに注目。米早期緩和縮小観測後退なら円安、縮小観測が強まるようであれば円高になると考えられる。ユーロは 18 日発表の ZEW 景況感調査、20 日発表の独仏 PMI を見極めたい。景況感指数が弱いとユーロ安になると考えられる。



5. 海外市場

(米国) 木村 俊文、(欧州) 山口 勝義、(中国) 王 雷軒

相場概況 (6/7~6/13)

【米国】

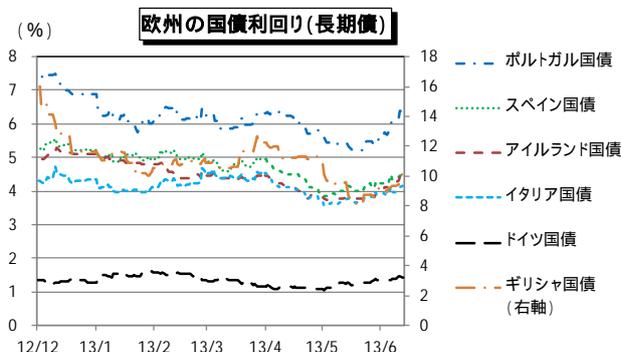
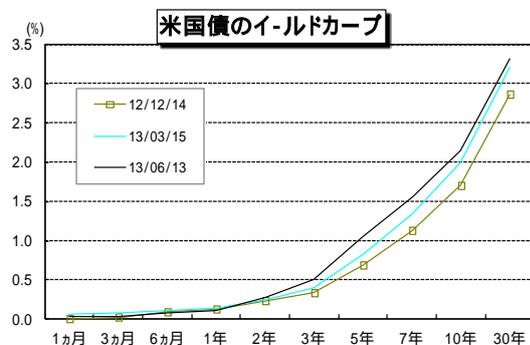
米国の長期金利(10年債利回り)は、米金融緩和策の早期縮小観測が根強いなか、先週末に発表された5月の雇用統計で非農業部門雇用者数の伸びが事前予想を上回ったことや週明け後はS&Pが米国の信用格付け見通しを引き上げたことなどから、11日には一時2.29%と2012年4月上旬以来約1年2ヶ月ぶりの水準に上昇した。しかし、その後は、早期の緩和縮小観測は行き過ぎとの見方から2.1%台に低下した。一方、株式相場は、ダウ工業株30種平均が週明けから3日連続で下落した後、13日は5月の小売売上高が好調となったことなどを好感して前日比180ドル(1.2%)高い1万5,176ドルで取引を終了した。

【欧州】

米金融緩和策の早期縮小にかかる警戒感が継続したほか、ギリシャではガス公社DEPAの売却入札の失敗(10日)、国営放送局の一時閉鎖(11日発表)にかかる連立政権内での見解対立等で、特に市場は神経質な動きとなった。週を通じ10年ゾーンで、ギリシャ国債は66bp利回りが上昇したほかポルトガル国債も43bp上昇、ドイツ国債は4bp上昇、独仏国債スプレッドは2bpながら拡大を継続。株式は、ストックス欧州600指数の0.4%の下落に対し、うち銀行セクターは1.5%下落した。

【中国】

端午節連休(6月10~12日)明け13日の上海総合指数は、8~9日に発表された5月の消費が小幅改善したものの、輸出が大幅に減速したほか、固定資産投資(農家家計を除く)も鈍化傾向を示したことを受けて景気減速に対する懸念が強まり、7日に続いて大幅下落。終値は前日比2.83%安の2,148ポイントとなった。



(資料) Bloomberg より農中総研作成

6. 指標分析・注目点

南 武志

今週のレビュー

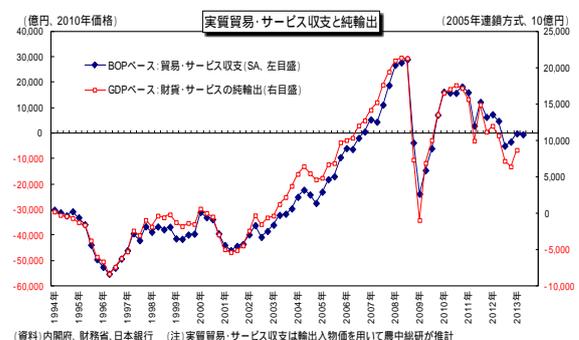
4月の「異次元緩和」決定後、長期金利が不安定な動きを続けていることもあり、債券市場では共通担保オペの年限を1年超に拡大することなどの対策を催促していたが、6月10～11日の日本銀行・金融政策決定会合では特段それに関する対策は打ち出されず、市場の失望感を誘った。どうやら金融市場は、「白い日銀」が採用していたような、デフレ継続を前提に、短期ゾーンの金利水準を抑制する手法を求めているようであるが、「黒い日銀」はそれを撥ねつけた、という構図であろう。これには、「白い日銀」が緩和策を出し惜しみした挙句、かつて「やらない」といったことを結局やる羽目に陥ったことへの反省もあるだろう。日銀が求める「市場との対話」とは、決してマーケットフレンドリーというわけではないようで、金融政策の影響度を確保するための主導権争いをしていると思われる。黒田総裁はいずれ市場は落ち着くとの考えを示したが、どちらが「根負け」するのか、大いに注目していきたい。

こうした中、1～3月期のGDP第2次速報(2次QE)が発表されたが、そもそも1次QE段階で前期比年率3.5%と高い成長だった実質GDPは前期比年率4.1%へ上方修正された。公共投資は下方修正されたものの、企業設備投資や民間在庫投資が上方修正され、全体を押し上げた。4～6月期には多少の減速は不可避と見るが、13年度を通じて堅調な成長が続くと思われる(なお、2次QE後を受けた経済見通しについては<http://www.nochuri.co.jp/topics/pdf/topics130611.pdf>をご覧ください)。

以下、2次QE以外に今週発表された経済指標について振り返ってみたい。4月の機械受注統計によれば、代表的な「船舶・電力を除く民需」は前月比8.8%と3ヶ月ぶりの減少となったが、現行統計開始以降最も高い伸びだった3月分(同14.2%)からの反動としては限定的なものに留まった。政府の成長戦略では、3年間で設備投資額70兆円を回復するといった目標を盛り込んでいるが、当面の設備投資動向は輸出が鍵を握っている可能性が高いだろう。なお、3月分と同時に公表された4～6月期の事前見通し(前期比1.5%)に向けては、5～6月は前月比2.2%のペースで減少しても達成可能であり、5四半期ぶりの前期比プラスもさほどハードルが高いわけではない。

5月の国内企業物価は前年比0.6%と2ヶ月連続の上昇。昨年のウェイトで評価する連鎖指数でも同0.4%と14ヶ月ぶりの上昇となった。円安により、輸入品価格が上昇していることに加え、天然ガス、電気料金などもじわじわと値上がりしている。

4月の国際収支統計によれば、経常収支は8,527億円(季節調整済、以下同じ)と2ヶ月連続の黒字となった。内容的には、貿易サービス収支は9,387億円と高水準の赤字が続いているが、円安効果によって所得収支が18,910億円と過去最大の黒字を更新した。なお、輸出入物価を用いて、GDP統計上の「実質海外需要」に近い「実質貿易・サービス収支」を試算してみると、4月分の四半期換算ベースの黒字幅は1～3月平均よりもやや縮小しており、4～6月期を通じての外需寄与度は1～3月期(0.4ポイント)から縮小する(=成長率にとっては押下げ効果)可能性が出ている。

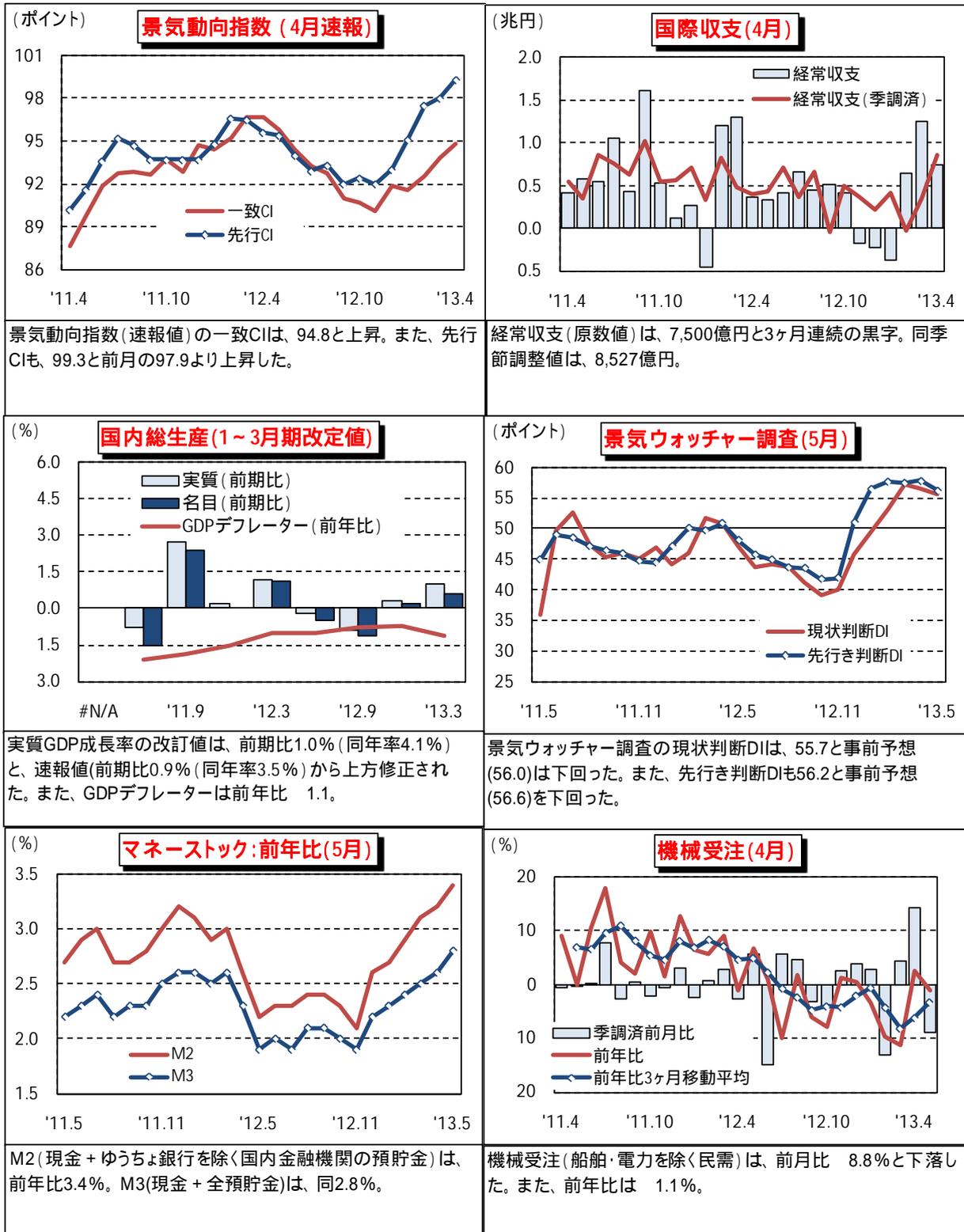


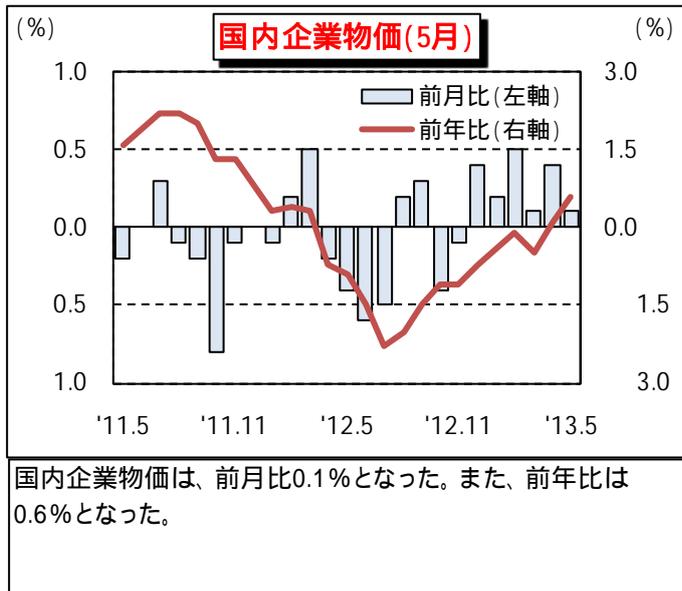
7. 今週の主なできごと

月 日	政治・財政	経済・金融	海外・その他
6月7日(金)	・政府:国家安全保障会議を創設するための関連法案を閣議決定、国会へ提出	・年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF):運用計画を変更、全体の資産に占める国内債券の比率を67%から60%に大幅に引き下げ、国内株式は11%から12%に引き上げる	・安倍首相:オランダ大統領と会談、包括的な原子力協力、安全保障に関する外務・防衛担当閣僚級会議開催で合意
6月8日(土)	・安倍首相:「私達は10年間で平均年収を150万円増やす」と述べる		・オランダ仏首相:日仏首脳会談で日本とEUの経済連携協定(EPA)を望んでいるとの考えを示す ・米カリフォルニア州:男が通行人などへ向けて銃を乱射、計4人死亡
6月9日(日)			・エルドアントルコ首相:自身への抗議デモに屈しない姿勢を示す
6月10日(月)	・安倍首相:「成長戦略第2弾で思い切った設備投資減税を決めたい」と述べる	・菅官房長官:「株価について一喜一憂する立場ではない」と発言 ・エアアジア:LCC事業でのANAホールディングスとの提携を解消する方針を固め、ANAがエア・アジアが持つエア・アジア・ジャパンの株式49%を取得する方針を固める	・米中首脳会談終了:習中国主席、オバマ米大統領に「TPP交渉の進展に合わせた情報提供」を求める ・スタンダード・プアーズ米格付会社:米長期国債の格付見通しを「弱含み」「安定的」に引き上げたと発表
6月11日(火)	・甘利経済再生相:一人当たりGNI(国民総所得)を150万円引き上げると表明	・日銀:「質的・量的金融緩和」を継続する方針を全会一致で決定、「マネタリーベースを年間60兆円から70兆円に相当するペースで増加するように金融市場調整を行う」との方針を維持 ・黒田日銀総裁:1年超のオペについて「必要になった時は検討する」と述べる	・トルコ警官隊:イスタンブール中心部のタクシム広場に入り、一部デモ隊に対し催涙ガスや放水を行う ・ギリシャ:12日午前0時に国営テレビ、ラジオを一時閉鎖すると発表 ・米証券取引委員会:シカゴ・オプション取引所に600万ドルの制裁金を課すと発表
6月12日(水)	・参院本会議:国際結婚が破綻した夫婦間の子供の扱いを定めた「ハーグ条約」加盟に向けた関連法が成立	・参院本会議:証券会社や投資一任業への罰則強化を盛り込んだ改正金融商品取引法が、成立	・世界銀行:経済見通し(改訂版)を発表し、2013年の世界経済成長率を2.2%と前回(1月時点)に比べて、0.2ポイント下方修正
6月13日(木)	・安倍首相:オバマ大統領と電話協議、「中国との対話のドア開いている」と伝える ・政府産業構想力会議:アベノミクス第3の矢の投資減税等の「日本再興戦略」を決定 ・政府経済財政諮問会議:今後10年の実質経済成長率を平均2%などとする「骨太の方針」を決定	・黒田日銀総裁:安倍首相と会談を実施し、内外経済は次第に落ち着くとの認識を示す ・川崎重工:取締役会で社長を解任し、三井造船との経営統合を白紙化する方針を発表	・北朝鮮:南北会談に「未練はない」との見解を示す ・米政府高官:アサド政権が化学兵器を使用したことを確認したことについて「レッドライン(越えてはいけない一線)を越えたと述べる ・米上院:東シナ海等での中国の威圧的行動を非難する決議を提出
6月14日(金)			

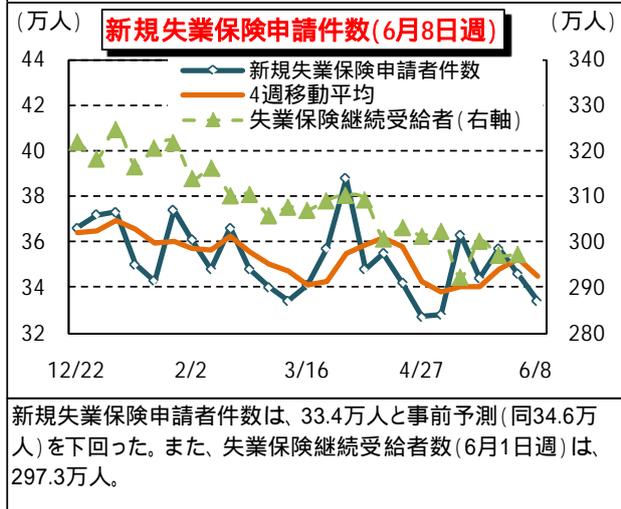
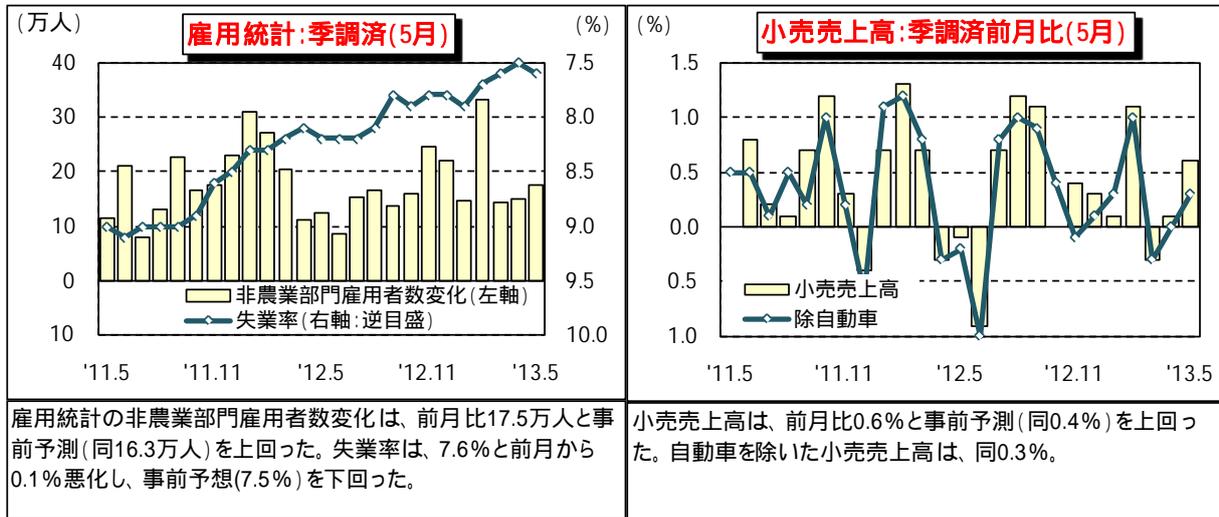
8. 内外経済指標の動向(グラフ)

【日本】





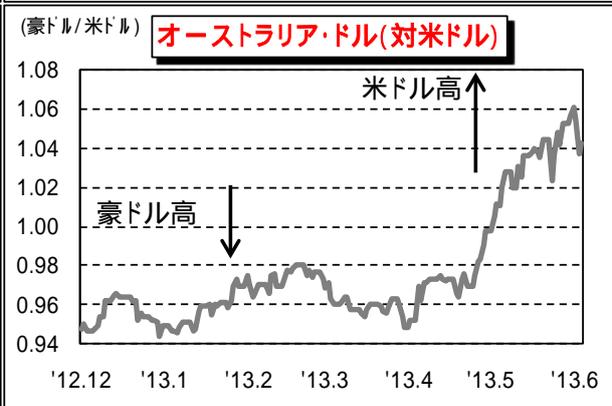
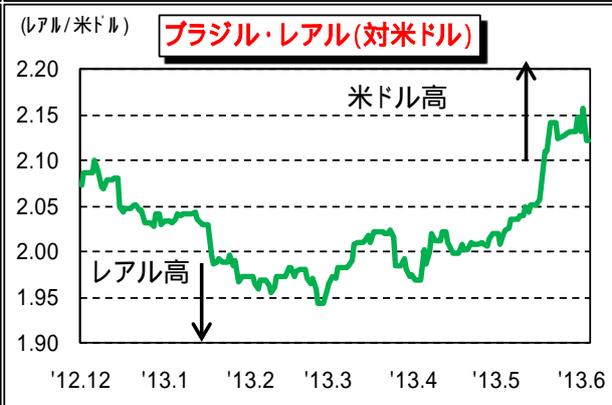
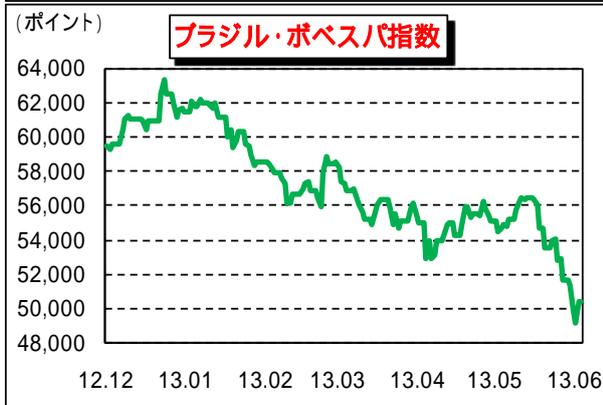
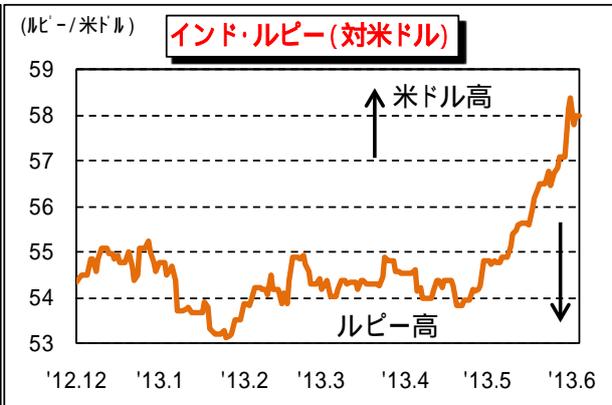
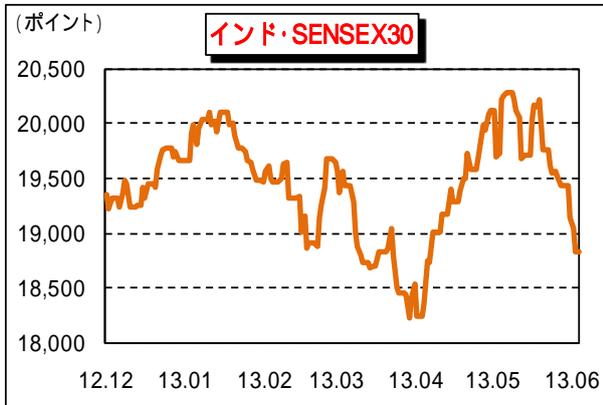
【米国】



9. 新興国等の市場動向(グラフ)

【株価指数】

【為替相場】



内外金融市場データ

	長期金利			短期金利				外国為替			国内株価指数		海外株価指数				海外金利			その他			
	新発 10年 国債 利回	債先 10年物 中心 限月	金利 スワップ レート 5年物 (円-円) 仲値	無担保 コール 翌日物	TIBOR ユーロ 円 3ヶ月	LIBOR 円 3ヶ月	TIBOR ユーロ 円 6ヶ月	金利 先物(利回) 中心 限月	ドル円 スポット レート 東京 17:00 現在	ユーロ 円 スポット レート 東京 17:00 現在	ユーロ 円 スポット レート 東京 17:00 現在	日経 平均 株価 225	TOPIX	米国 NYダウ 工業株 30	米国 ナスダック 総合	ストク クス 欧州 600	中国 上海総合	米国 財務省 証券 10年物 国債利回	LIBOR ドル 3ヶ月	独 国 10年物 国債利回	NY 金 先物 期近	NY 原油 先物 WTI 期近	OPEC 原油 バス ケット 価格
13/04/18	0.560	144.46	0.384	0.071	0.2282	0.156	0.326	0.220	97.99	1.305	127.91	13,220.07	1,122.97	14,537.14	3,166.36	283.73	2,197.60	1.685	0.276	1.226	1,393.8	87.73	96.35
13/04/19	0.585	144.58	0.378	0.072	0.2282	0.156	0.326	0.220	99.32	1.305	129.83	13,316.48	1,126.67	14,547.51	3,206.06	285.21	2,244.64	1.705	0.276	1.251	1,397.0	88.01	97.40
13/04/22	0.610	144.34	0.380	0.072	0.2282	0.156	0.326	0.220	99.71	1.307	129.50	13,568.37	1,145.60	14,567.17	3,233.55	285.68	2,242.17	1.693	0.275	1.232	1,422.7	88.76	97.75
13/04/23	0.585	144.67	0.368	0.074	0.2282	0.156	0.326	0.210	98.65	1.300	128.12	13,529.65	1,143.78	14,719.46	3,269.33	292.63	2,184.54	1.707	0.276	1.260	1,410.3	89.18	97.52
13/04/24	0.590	144.61	0.374	0.073	0.2282	0.156	0.326	0.210	99.51	1.302	129.28	13,843.46	1,164.35	14,676.30	3,269.65	294.63	2,218.32	1.705	0.276	1.238	1,425.3	91.43	98.96
13/04/25	0.580	144.73	0.375	0.077	0.2282	0.156	0.326	0.210	99.22	1.301	129.31	13,926.08	1,172.78	14,700.80	3,289.99	296.88	2,199.31	1.708	0.276	1.238	1,463.7	93.64	99.89
13/04/26	0.590	144.65	0.392	0.073	0.2282	0.156	0.326	0.215	98.59	1.303	128.52	13,884.13	1,161.19	14,712.55	3,279.26	295.89	2,177.91	1.663	0.276	1.206	1,455.1	93.00	100.70
13/04/29	休場	休場	休場	休場	休場	0.156	休場	休場	休場	1.310	休場	休場	休場	14,818.75	3,307.02	297.39	休場	1.670	0.274	1.204	1,468.9	94.50	100.91
13/04/30	0.600	144.53	0.400	0.071	0.2282	0.156	0.326	0.220	97.83	1.317	127.96	13,860.86	1,165.13	14,839.80	3,328.79	296.72	休場	1.672	0.273	1.216	1,473.5	93.46	100.65
13/05/01	0.590	144.75	0.385	0.072	0.2282	0.156	0.326	0.220	97.45	1.318	128.36	13,799.35	1,158.37	14,700.95	3,299.13	296.93	休場	1.629	0.273	1.208	1,447.6	91.03	99.97
13/05/02	0.560	145.12	0.373	0.074	0.2282	0.156	0.326	0.225	97.24	1.307	127.49	13,694.04	1,153.28	14,831.58	3,340.62	297.88	2,174.12	1.626	0.273	1.165	1,469.1	93.99	98.97
13/05/03	休場	休場	休場	休場	休場	0.156	休場	休場	休場	1.311	休場	休場	休場	14,973.96	3,378.63	301.04	2,205.50	1.738	0.275	1.240	1,465.6	95.61	101.47
13/05/06	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	休場	1.308	休場	休場	休場	14,968.89	3,392.97	300.97	2,231.17	1.759	休場	1.243	1,469.5	96.16	102.61
13/05/07	0.595	144.73	0.390	0.073	0.2282	0.155	0.326	0.225	99.11	1.308	129.65	14,180.24	1,188.57	15,056.20	3,396.63	301.74	2,235.57	1.778	0.275	1.298	1,450.4	95.62	102.75
13/05/08	0.590	144.72	0.384	0.072	0.2282	0.155	0.326	0.215	98.85	1.315	129.45	14,285.69	1,194.34	15,105.12	3,413.27	303.67	2,246.30	1.767	0.275	1.269	1,475.3	96.62	102.11
13/05/09	0.590	144.72	0.378	0.092	0.2282	0.155	0.326	0.220	98.84	1.304	130.15	14,191.48	1,181.83	15,082.62	3,409.17	303.74	2,232.97	1.811	0.275	1.270	1,470.0	96.39	101.67
13/05/10	0.690	143.70	0.430	0.073	0.2282	0.155	0.326	0.225	101.37	1.299	132.15	14,607.54	1,210.60	15,118.49	3,436.58	304.99	2,246.83	1.897	0.275	1.380	1,437.9	96.04	101.07
13/05/13	0.790	142.95	0.488	0.071	0.2282	0.155	0.326	0.230	101.63	1.298	131.74	14,782.21	1,232.20	15,091.68	3,438.79	304.46	2,241.92	1.920	0.275	1.356	1,435.6	95.17	100.47
13/05/14	0.845	142.11	0.552	0.073	0.2282	0.155	0.326	0.230	101.39	1.292	131.82	14,758.42	1,230.80	15,215.25	3,462.61	305.66	2,217.01	1.974	0.274	1.374	1,425.8	94.21	100.29
13/05/15	0.850	141.89	0.565	0.072	0.2282	0.155	0.326	0.230	102.38	1.289	132.10	15,096.03	1,252.85	15,275.69	3,471.62	308.06	2,224.80	1.935	0.274	1.382	1,397.5	94.30	99.66
13/05/16	0.840	142.27	0.541	0.074	0.2282	0.155	0.326	0.230	102.44	1.288	131.75	15,037.24	1,245.23	15,233.22	3,465.24	307.97	2,251.81	1.881	0.274	1.331	1,388.2	95.16	100.85
13/05/17	0.795	142.69	0.519	0.072	0.2282	0.155	0.326	0.225	102.52	1.284	131.48	15,138.12	1,253.24	15,354.40	3,498.97	308.72	2,282.87	1.951	0.274	1.326	1,366.0	96.02	101.45
13/05/20	0.840	142.12	0.548	0.073	0.2282	0.155	0.326	0.230	102.53	1.288	131.90	15,360.81	1,269.51	15,335.28	3,496.43	309.77	2,299.99	1.965	0.273	1.376	1,385.4	96.71	101.95
13/05/21	0.880	141.89	0.559	0.072	0.2282	0.155	0.326	0.225	102.73	1.291	132.29	15,381.02	1,270.39	15,387.58	3,502.12	309.99	2,305.11	1.926	0.274	1.391	1,378.8	96.16	101.39
13/05/22	0.885	141.90	0.552	0.073	0.2282	0.155	0.326	0.230	102.79	1.286	132.96	15,627.26	1,276.03	15,307.17	3,463.30	310.59	2,302.40	2.040	0.274	1.427	1,368.4	94.28	100.36
13/05/23	0.835	142.51	0.508	0.074	0.2282	0.155	0.326	0.225	101.94	1.293	131.15	14,483.98	1,188.34	15,294.50	3,459.42	303.99	2,275.67	2.016	0.273	1.444	1,392.8	94.25	99.03
13/05/24	0.845	142.30	0.519	0.073	0.2282	0.155	0.326	0.225	101.61	1.293	131.36	14,612.45	1,194.08	15,303.10	3,459.14	303.35	2,288.53	2.008	0.273	1.431	1,387.5	94.15	99.15
13/05/27	0.830	142.43	0.513	0.072	0.2282	休場	0.326	0.230	101.01	1.293	130.72	14,142.65	1,154.07	休場	休場	304.34	2,293.08	2.008	休場	1.457	休場	休場	99.56
13/05/28	0.905	141.84	0.555	0.070	0.2282	0.155	0.326	0.230	102.24	1.286	131.93	14,311.98	1,168.27	15,409.39	3,488.89	308.23	2,321.32	2.165	0.273	1.498	1,379.7	95.01	101.11
13/05/29	0.935	141.58	0.580	0.071	0.2282	0.154	0.326	0.230	101.70	1.294	130.82	14,326.46	1,178.87	15,302.80	3,467.52	302.50	2,324.02	2.115	0.276	1.533	1,391.8	93.13	100.54
13/05/30	0.890	142.16	0.553	0.072	0.2282	0.154	0.326	0.225	100.84	1.305	130.70	13,589.03	1,134.42	15,324.53	3,491.30	303.55	2,317.75	2.111	0.275	1.517	1,412.0	93.61	99.77
13/05/31	0.860	142.32	0.538	0.073	0.2282	0.154	0.326	0.230	100.63	1.300	131.15	13,774.54	1,135.78	15,115.57	3,455.91	300.88	2,300.60	2.128	0.275	1.505	1,393.0	91.97	98.78
13/06/03	0.805	143.06	0.487	0.074	0.2282	0.154	0.326	0.225	100.23	1.308	130.61	13,261.82	1,096.95	15,254.03	3,465.37	298.59	2,299.25	2.119	0.273	1.522	1,411.9	93.45	98.88
13/06/04	0.865	142.50	0.499	0.075	0.2282	0.154	0.326	0.225	100.29	1.308	131.04	13,533.76	1,125.47	15,177.54	3,445.26	299.59	2,272.42	2.146	0.274	1.543	1,397.2	93.31	99.87
13/06/05	0.855	142.78	0.482	0.076	0.2282	0.154	0.326	0.225	99.73	1.309	130.45	13,014.87	1,090.03	14,960.59	3,401.48	295.12	2,270.93	2.089	0.274	1.511	1,398.5	93.74	101.09
13/06/06	0.835	143.02	0.475	0.077	0.2282	0.154	0.326	0.225	99.27	1.325	130.23	12,904.02	1,070.77	15,040.62	3,424.05	291.69	2,242.11	2.077	0.274	1.521	1,415.8	94.76	100.93
13/06/07	0.860	143.11	0.476	0.075	0.2282	0.154	0.326	0.225	96.59	1.322	127.95	12,877.53	1,056.95	15,248.12	3,469.22	295.40	2,210.90	2.172	0.275	1.546	1,383.0	96.03	101.64
13/06/10	0.825	143.22	0.474	0.077	0.2282	0.154	0.326	0.220	98.39	1.326	129.48	13,514.20	1,111.97	15,238.59	3,473.77	295.22	休場	2.210	0.274	1.601	1,386.0	95.77	101.38
13/06/11	0.880	142.91	0.508	0.074	0.2282	0.154	0.326	0.225	98.18	1.331	130.28	13,317.62	1,101.15	15,122.02	3,436.95	291.74	休場	2.185	0.272	1.600	1,377.0	95.38	100.72
13/06/12	0.870	142.33	0.531	0.073	0.2282	0.154	0.326	0.225	96.81	1.334	128.83	13,289.32	1,096.54	14,995.23	3,400.43	290.68	休場	2.228	0.273	1.585	1,392.0	95.88	100.89
13/06/13	0.855	142.34	0.532	0.075	0.2282	0.154	0.326	0.225	94.22	1.338	125.75	12,445.38	1,044.17	15,176.08	3,445.37	290.51	2,148.36	2.149	0.273	1.561	1,377.8	96.69	
13/06/14	0.845	142.57			0.2282		0.326	0.230		1.335		12,740.65	1,060.19				2,152.97	2.151			1,383.8	96.76	

(資料) Bloombergより農中総研作成。最終日は13時7分時点で入手可能な最新データを掲載。